

5. 復興まちづくり計画の実現に向けて

(1) 計画目標（工程表）

本計画で挙げた施策は、「大洗町震災復興計画（復興ビジョン）」にて計画期間として定めている復興期間（平成 27 年度 [2016 年 3 月] まで）に実施可能なものと、長期的な視点で検討を深める必要があるものとに分けられます。各施策の計画目標（工程表）について、下表に示します。

復興まちづくりの方針	具体的施策 【本町の地域特性を考慮した新たな津波対策/ 復興拠点における新たなまちづくり】	短期			中期 (~10 年)	長期 (10 年 ~)	特に短期で取り組む施策	実施 主体
		H25	H26	H27				
1. 安全・安心のための土地利用の方針								
方針 1 : 津波浸水想定区域における適正な土地利用の誘導	2-2. 復興まちづくりの方針 2-2-1. 安全・安心のための土地利用の方針 ○建物の耐震化・高層化等の誘導							町
方針 2 : 高台等における新たな土地利用の展開	2-2. 復興まちづくりの方針 2-2-1. 安全・安心のための土地利用の方針 ○大貫台地区、二葉地区、前原地区、成田地区の整備						・大貫台地区の整備(進入路)	町
2. 安全・安心が第一の施設整備								
方針 1 : 防災・減災としての災害拠点施設の整備、移転による機能確保	3-2. 最大クラスの津波に対する避難対策 3-2-2. ソフト対策 (4) 防災施設の機能配置見直し・機能強化						・防災拠点施設の機能確保、再配置	町
方針 2 : 避難路の整備及び避難路沿道建物の耐震化	3-2. 最大クラスの津波に対する避難対策 3-2-1. ハード対策 (1) 避難路及び避難場所の検討 (2) 避難誘導サイン及び避難誘導灯の検討						・津波浸水想定区域から高台を結ぶ避難路の整備 ・観光ピーク時を想定した避難所の整備 ・確実な避難を実施するための避難誘導サイン、避難誘導灯の整備	県・町
	○県道 2 号沿いの松林の保存							県・町
	3-2-2. ソフト対策 (2) 発災時における情報提供の充実						・防災行政無線の整備	町
	2-2. 復興まちづくりの方針 2-2-2. 安全・安心が第一の施設整備の方針 ○避難路沿道の耐震化、ブロック塀の生け垣等の誘導							町
方針 3 : ネットワーク道路の整備	緊急輸送路等となるネットワーク道路の整備							町
方針 4 : 新たな魅力づくりのための復興拠点の形成	4-2. サンビーチ海岸における新たなまちづくり 4-2-1. ビーチ利用や景観性に配慮した魅力向上方策						・海浜緑地の整備 ・サンビーチの魅力を活かしたイベントの実施	県・町
	4-2-2. サンビーチにおける新たな津波対策						・津波に対する多重防護対策の実施	県・町
	4-3. 港湾部における新たなまちづくり 4-3-1. 港湾利用者や港湾部への新たな集客のための魅力向上策						・賑わいのある港を生み出す仕掛けづくりの検討	町
	4-3-2. 大洗港付近における新たな津波対策						・津波防護施設の設置検討	県・町
	4-4. 復興拠点における回遊性向上策						・[都]駅前海岸線の整備	県・町

復興まちづくりの方針	具体的施策 【本町の地域特性を考慮した新たな津波対策/ 復興拠点における新たなまちづくり】	短期			中期 (~10 年)	長期 (10年 ~)	特に短期で取り組む施策	実施 主体
		H25	H26	H27				
3. 賑わいのある魅力的なまちづくりの方針								
方針1：産業・観光振興に向けたまちづくり	2-2. 復興まちづくりの方針 2-2-3. 賑わいのある魅力的なまちづくりの方針 ○産業基盤の再生による雇用の創出 ○6次産業の推進 ○被災した文化財の修理・修復							町
	4-2. サンビーチ海岸における新たなまちづくり 4-2-1. ビーチ利用や景観性に配慮した魅力向上 方策						・イベントの実施	町・町民
方針2：景観、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり	4-3. 港湾部における新たなまちづくり 4-3-1. 港湾利用者や港湾部への新たな集客のための魅力向上策						・イベントの実施	町・町民
方針3：環境、エネルギーに配慮したまちづくり	2-2. 復興まちづくりの方針 2-2-3. 賑わいのある魅力的なまちづくりの方針 ○自然環境に配慮した拠点整備 ○スマートグリッドタウンの形成							町
方針4：地域力向上に向けたまちづくり	3-2. 最大クラスの津波に対する避難対策 3-2-2. ソフト対策 (1) 津波に対する日ごろの心構え(防災意識)の醸成 ○主体的な避難行動を取る姿勢を醸成する防災教育、防災訓練の実施						・防災訓練の実施 ・防災教育の実施 ・生活防災の仕組み、仕掛けづくり ・津波に関する知識の普及啓発	町・町民
	○漁業地域における就労者・来訪者の避難行動ルールづくり						・避難行動のルールづくり	町・町民
	○率先避難者の育成						・訓練, 学校教育を通じた啓発	町・町民
	○行政、学校、地域社会、家庭、企業等の連携						・津波対策協議会(仮称)の設立 ・サンビーチにおけるライフセーバー等との連携強化	町・町民
	○自主防災組織の再編						・自主防災組織の再編, 組織間の連携 ・避難行動に関するルールづくり	町・町民
	2-2. 復興まちづくりの方針 2-2-3. 賑わいのある魅力的なまちづくりの方針 ○町民の健康増進							町・町民

（２）計画実現に向けた方策

次に、本計画の実現化方策を示します。先に整理した各施策については、以下の５つを柱とし、本町が目指す将来像の実現に向けて着実な推進を図ります。

■実現化方策１：庁内体制の充実

本計画を推進する上では、町の施策や取組みが基本となりますので、町の行政組織体制の強化を図ります。体制充実にあたっては、現在見直し中の「大洗町地域防災計画」が示す体制も踏まえ、実効性の大きいものとなるよう留意します。

- －まちづくり推進課、生活環境課、都市建設課、農林水産課、商工観光課、学校教育課などの関連する担当課の連絡調整を行うための横断的な調整組織の設置
- －今後策定する関連計画の整合性確保

■実現化方策２：町民との協働

本計画を推進するための体制として、町民・町民団体、その他ボランティア団体、漁業関係者等との協働体制について検討します。

- －町民との協働による、防災教育や防災訓練の実施（地域・組織を超えた合同訓練や町民・観光客による合同訓練を含む）
- －本計画の町民への周知、及び町民からのアイデア募集
- －町民協働による災害時要援護者の把握、及び避難支援者の育成
- －町民協働によるサンビーチ海岸や駅前海岸線（シンボルロード）等の環境美化活動の実践
- －別途開催された「大洗町の商業を考える検討委員会」等の検討結果の反映や、今後開催される関連会議との調整・連携

■実現化方策３：国、県、他自治体との連携

大洗港やサンビーチ海岸、国道 51 号などの拠点や施設は、本町だけではなく国や首都圏、茨城県などにおいても重要な位置付けにあります。したがって、本計画の推進にあたっては、それらの関係機関との連携が必要不可欠です。

- －各関係機関による関連整備計画等との調整・連携
- －他自治体との観光分野における連携推進（日光市、苫小牧市、大子町等）

■実現化方策４：民間企業の参入・連携の促進

産業・観光振興や環境・エネルギーへの配慮、新たな魅力づくりのための復興拠点の形成のため、民間企業による活動や、漁業関係者・小売業・飲食店・旅館業等との産業間・企業間連携の取組みを支援します。特に、本計画に示す新規整備においては、民間企業の参入に向けて積極的な招致を図ります。

- －漁業関係者と民間企業との連携による水産加工物等の販路拡大や商品開発等の支援
- －町民団体と民間企業、その他各種団体等との連携による体験・交流活動の取組みの支援
- －民間企業による環境保全活動や社会貢献活動としての拠点でのイベント等の促進

■実現化方策５：計画推進の管理・見直し

本計画を効率的かつ効果的に推進するため、各施策の進捗状況・成果等について進捗管理を行うとともに、社会情勢を踏まえたものとなるよう、定期的な見直しを図ります。

- －町民協働による計画推進の進捗管理・評価体制の構築